

【避難訓練を終えて】(防災安全担当 仲川・雨森)

10月25日(火)に不審者侵入時における避難訓練を行いました。今回は不審者が正面玄関付近に侵入してきたことを想定した訓練でした。不審者発見時の警備員さんの笛の合図と非常警報、その後の校内放送を聞いて全員が速やかに職員室に避難しました。大使館の今井様に訓練の様子を見ていただき、講評をいただきました。「学校にいるのがおかしいような人を見かけたらすぐに先生に報告すること。知らない人には絶対についていけないこと。」など、普段からの心構えを話していただきました。今後も、非常時の避難の仕方や身の守り方を訓練していく予定です。



【ホットランチ感想】(PTA担当 太田)

10月9日(金)に第2回PTAホットランチがあり、初の試みであるシチューを全校児童生徒みんなでおしくいただきました。PTA役員およびお手伝いしていただいた方々には、厚くお礼申し上げます。来年度も宜しくお願い致します。



【ドナウ祭のタイムスケジュールについて】(ドナウ祭担当 原田・牛嶋・佐々木)

ドナウ祭のタイムスケジュールについては、事前にプログラムでお知らせしていますが、あくまで予定となっております。演奏・演技時間の長さによって、児童生徒の出演時間が前後することがありますのでご了承ください。

来週土曜日がドナウ祭ということで、子どもたちも緊張していることと思います。ぜひ、励ましの言葉をかけていただくとともに、当日は温かく見守っていただきますようよろしくお願い致します。

なお、体調が悪く欠席をする場合には、緊急連絡網に記載されている担任の携帯へご連絡をよろしくお願い致します。

【授業研究④ 小3・4年…総合的な学習の時間】(小学部4年担任 大久保 教科領域研究部 甘利)

今年度、小学部3・4年生は総合的な学習の時間の学習で「共に生きる―よりよいかかわりを目指して―」をテーマに様々な人と出会いながらかかわり方について考え、身近な存在であるV校の子どもたちとよりよいかかわることを目指しています。

今回、知的障がいのある方の特性について、文書資料や映像資料を基に調べ、グループでまとめました。

3・4年生では、自分の考えに自信がもてず、なかなか発表がしにくい場面が見られることがあります。そこで、思考ツールを使って自分の考えを整理したり、自分の考えを友達に伝えたりする活動を取り入れました。今回は、フリーカード法を活用しました。個人で付箋紙に調べてわかったことを一つだけ書き、グループで理由を発表し合いながら大きな用紙にまとめ、分類していくというものです。普段発表しにくさを感じている子どもも自信をもって取り組むことができていました。

一方で、フリーカード法が考えの共有のみで、話し合うところまでいかなかったことや学んだことを生かす場を設定することも課題であると感じました。

子どもたちがV校の友達とよりよいかかわりを築いていけるよう、今後の学習をより充実したものにしていきたいと思います。(大久保雄司)



「V校の友だちとよりよいかかわるために…」という大きな単元目標を設定し、年間を通して追求する単元づくりを行ったことで、目的意識を持ち、自ら調べ、考える子どもたちの姿を生むことができました。また、「言葉」以外のかかわり方を身に付けるために、アメリカンスクールや、特別支援学校などの「非言語コミュニケーション」を必要とする方々との交流場面を設定したことも、様々な「かかわり方」を習得する上で、有効な手立てだと考えられます。

一方で、そうして調べたことや、学んだことを「活用する場（V校との交流会）」が3学期に設定されていたことが事後検討会で話題になりました。調べたことや、学んだことは、「活用すること（使うこと、試すこと）」によって定着することは、他教科の研究実践によっても明らかになっています。

今回の総合学習でも、V校との交流会を学期に一度にするなど、定期的な交流が設定されると、子どもたちの学んだ「かかわり方」は実際に生きた知恵となったのではないかという指摘がなされました。

次回は仲川による中学部道德の研究授業です。

子どもたちに「学ばせる」ことだけではなく、「活用させる」ことによる「定着」までを視野にいれた単元の開発を次の研究課題としていきます。(甘利大紀)

【編入生の紹介】(教職員一同)

1月2日(水)に渡邊煌己さん(小5)が、本日4日(金)に西堀友貴さん(小5)が、新しい仲間として本校に加わりました。

臨時朝会では、全校児童生徒の前で立派に自己紹介をすることができました。ドナウ祭の練習もあって忙しいスタートとなりますが、1日も早く日本人学校での学校生活に慣れることを願っています。